

甲山森林公園からアサヒビール

第125回くらわん会 2006/10/3



<行程>

阪急今津線・仁川駅東口 ⇒ 仁川百合野町地すべり資料館 ⇒ 甲山森林公園 ⇒ 阪急今津線・甲東園駅 ⇒ 西宮北口駅 ⇒ 阪急今津線・阪神国道駅⇒アサヒビール西宮工場(見学・試飲・解散)
<距離> 約6km <参加者数> 109名



今月は阪急沿線の仁川駅に集合。交通経路も乗り継ぎが多く、やや遠いので、参加人員が少ないのではと心配していたが、元気なシニアたち109名が駅前広場に集まった。



好天に恵まれ、絶好のハイキング日和。コース説明、多回数参加者表彰など恒例のセレモニーを行った後、仁川左岸に沿って、甲山森林公園に向かい出発。仁川の左右沿岸には、立派な住宅が建ち並び、ところどころには赤、白の花が咲いているのが目に付く。中でも洋館の屋根の上に風見鶏が据え付けられていたのが印象に残った。



住宅街を抜け、坂を上りきると、地すべり資料館がある。そこには阪神大震災時に起こった地すべりの状況や、地すべり観測システムなどが展示され、往時の被害の状況が良くわかる。興味深く展示物を見ると同時に自然界の力のすごさを再認識させられているようだ。



そこを出て、甲山に向かう途中、ふと右上を見ると、崖のすぐそばに住宅があり人が生活しているようだ。小さな地震でもあったら、崩れるのではないかと人ごとながら心配になる。対策工事を施した斜面につけた、歩幅にあわない階段を上ると、汗がにじみ出てくる。ようやく、林道にたどり着く。道の両側の木々からもれてくる、陽の光を浴びながら、展望台に向かう。



やや霞がかかったように、ぼんやりしているがここからは京阪神地域全体を見渡すことが出来、なかなかいい眺望。森林公園まで続く道は、幅も広く緩やかな坂道、記念碑公園近くになると、正面には、まるで兜を伏せたような形のいい甲山が見え、彫刻の道の両脇には、大理石で出来た14体の彫刻が展示されているのだが前衛作品なので何を表現しているのか、理解に苦しむ。トンボの頭、男女の合体かななどと想像しながら歩く。



記念碑公園の中央休憩広場には笠形噴水や霧の噴水があり、その真ん中には真っ白い大理石で出来た愛の像が、甲山を背景に建てられていて、緑と白が良く調和している。この周りで昼食タイムになった。



アサヒビール工場の見学をひかえているため、手早く昼食をすませ、彫刻の道を通り、甲東園駅に向かう。途中の関西学院大学まへの通りは、学園祭があるのか、ルックス、スタイルのいい男女の学生たちがいて、我々シニアに若さを与えてくれる。



甲東園から西宮北口を經由して今津線の阪神国道駅で下車、アサヒビール西宮工場に着く。ビールの出来るまでは、何度も見学しているので、暗記しているぐらいだ。早く乾いたのどを潤したいと思いながら、美人の水田さんの説明を聞く。今日は出来立てのスーパードライの試飲。アルコール好きの人は20分の制限時間内に、3~4杯飲んだであろうか。売店で売っている、つまみや、他の商品の説明をしてくれたのが、またまた美人の東野さん。帰りに燻製やビスケット、カステラを買って帰った人たちが大勢いた。



清水次雄記



駅西を仁川橋へ、仁川沿いの道へ
駅を後にする



仁川沿いに進む地すべり資料館に
向かう



仁川の左右沿岸には、立派な住宅
が建ち並び、ところどころには
赤、白の花が咲いているのが目に
付く



百合野町の坂を上り詰めると地す
べり資料館に到着



地すべり模型で地すべり自動観測
システムを紹介するとともに、対
策工事を紹介する



地下水を集めて抜くなどの対策工
事をした斜面、虫をよみがえらせ
てと小川がある



記念館の入り口には犠牲者を弔う
碑があり、前の花壇には色とりど
りの小さな花が咲いていた



対策工事を施した斜面横につけ
た、歩幅にあわない階段を上る



秋の花、萩が道端に咲き心和む



東展望広場への緩やかな林道に出
る



あいにく霞んで遠くは見えなかつ
たが、阪神競馬場から西宮一帯、
大阪湾が一望できる



甲山森林公園に到着モニュメント
ゾーン、彫刻の道をゆく



大理石で出来た14体の彫刻が展
示されているのだが前衛作品なの
で何を表現しているのか、理解に
苦しむ



中央休憩広場にある笠形噴水は噴
水幕が傘のように見える



愛の像の周囲から噴出す霧の噴水
に、まだ高い太陽が反射し、細く
て強い虹がかかる



アサヒビール工場の見学をひかえ
ているため、手早く昼食をすま
せ、甲山森林公園を出発



公園内の広い道を甲東園駅に向か
う



谷に架かる橋を渡ると、森林公園入り口に、すぐ横に管理事務所がある



関学を背に上甲東園町の住宅街を甲東園駅に向かう



甲東園駅に到着、阪急今津線西宮北口から阪神国道駅に向かう



時間調整をしたがアサヒビール西宮工場に到着、予約時刻より30分早く小学生の見学者が終わるまで、しばらくロビーで待機



時間待ちの間にみやげ物を買込む



麦汁作りの工程から発酵・熟成・ろ過・瓶詰めと工程を見学



出来立てのスーパードライの試飲。アルコール好きの人は20分の制限時間内に、3～4杯飲んだであろうか



売店で売っている、つまみや、他の商品の説明をしてくれたのが、またまた美人の東野さん

